

## こだま Q&amp;A



## Q78

結核菌特異的 IFN- $\gamma$  (T-SPOT) の判定不能と判定保留は、どのように解釈すればいいですか。

## A78

T-SPOT とは、結核菌に感染した場合に反応し IFN- $\gamma$  を産生するリンパ球 (T細胞) を計測する検査です。免疫応答検査のため、陽性となるには感染後 8~10週の間隔が必要となります。判定は、陽性・陰性以外に判定保留と判定不能の場合がありますので以下に解釈を記載します。

## &lt;判定保留&gt;

検査の信頼性の高い値を陽性・陰性のカットオフ値としていますが、その中間値は信頼性が低く、はっきりと陽性・陰性と判定できないため判定保留領域となります。この場合は再検査を行います。再び判定保留となると「他の診断方法を用いるか、臨床的・患者背景を考慮の上、医師の判断のもとで総合的に診断する」こととなります。(試薬添付文書より)

## &lt;判定不能&gt;

検査特性から、患者側で何らかの免疫応答低下が見られる時に検査不能となりますので他の診断方法を用いるか原因を除いた後の再検査となります。

お問い合わせ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)

  
きやつちボール

広島カープは交流戦も絶好調でした。このままリーグ優勝に向けて突き進んで欲しいところです。次は、サッカー日本代表です。8月31日のオーストラリア戦では、W杯アジア代表を決めてほしいものです。昔と比べて、攻撃陣もスピード・技術がレベルアップしてきましたので、本大会が今から楽しみです。

当検査センターの攻撃陣(最前線)と言えば集配営業係ですが、本号でご紹介したコールセンターはボールを受けてパスを送る中盤(MF)といったところでしょうか。お客様からの問い合わせに迅速にお答えし、専門的な内容は各検査科と連携して対応しています。営業課は、お客様からのパスをしっかりと受け止め、正確・迅速・丁寧なパスをお返しできるようレベルアップしてまいります。 藤本 誠(営業課課長)

<広報委員> 谷敷 圭美 / 橋本 健 / 藤井 ひとみ / 三宅 康雄 / 井上 安奈 / 加藤 与旨多

\*本誌はウェブページでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/newsletter>